

# ジェイテクト発足にあたって

— Message upon Start of JTEKT Corporation —



取締役社長  
吉田 紘司  
K. YOSHIDA

昨年の世界経済を振り返りますと、米国経済は民間需要の拡大に支えられ好調を維持し、欧州経済も緩やかな回復基調にありました。また、アジア経済も中国を筆頭に引き続き景気拡大となりました。そのような好調な世界経済に支えられ、わが国においても企業収益の回復を背景に民間設備投資が着実に増加するなか個人消費も底固く、景気の踊り場を脱却したというほどの力強さは感じられないものの緩やかな回復傾向で推移しました。

一方、わが国株式市場ではバブルが芽生え、原油・原材料の価格上昇などの経営的リスク要因も多くなってきております。特に昨年末から今年にかけての相次ぐ米国自動車部品メーカーの経営破綻からもわかるように、たとえ大企業であっても、経営判断を一步誤ると会社業績が急降下することを示唆しており、全く予断を許さない状況にあると考えています。

このような状況のなか、幅広いお客様ニーズにスピーディに対応できるよう本年1月1日、光洋精工株式会社と豊田工機株式会社は合併し、「株式会社ジェイテクト」として新たにスタート致しました。新会社は「ステアリング」、「駆動」、「軸受」、「工作機械」の4事業部からなり、それら事業の融合によるシナジー効果を発揮し、基盤技術の深化・拡大から最先端技術への挑戦を通じて、お客様の期待に応える最高の品質・技術・サービスを提供して行きたいと思っております。以下に当社4事業の目指す姿について述べたいと思っております。

最初に、ステアリングでは、油圧式パワーステアリングから電動パワーステアリングまで、すべての方式の商品を供給できる世界唯一のフルシステムサプライヤーとして、お客様の多種多様なニーズに即応することが出来

るステアリング業界のリーディングポジションを目指します。次に駆動部品では、世界の4WD（4輪駆動）市場に向け、「オンリーワン技術」で強い商品力を持つ電子制御カップリングやトルセンディファレンシャルをグローバルに展開し、世界トップレベルのドライブライン系サプライヤーを目指します。さらに軸受では、円すいころ軸受やハブユニットなどの自動車用軸受への重点志向を行い、他の分野で培った技術も活かし世界ナンバーワンを目指します。最後に工作機械では、両社保有技術の結集により、「世界No.1のシステムサプライヤー」として、お客様のモノづくりおよび事業の発展への貢献を目指し、世界トップクラスの地位を堅持して行きます。

ジェイテクトとしては、「お客様第一」の視点でたゆまぬ改善に取り組み、あらゆることに一流の品質と安全、信頼ならびに低コストを求め続けることで、世の中に必要とされる会社であらねばなりません。

それを支えるのは人（人財）です。ジェイテクトの開発にあたる者は、世に出して喜ばれる技術・商品を開発することが必要であり、高機能・高品質商品を低コストで実現する「技術者」でなければなりません。そのような創造性を尊び、未知なるものにチャレンジする「技術者」を育成して行くための環境・風土を醸成し、社員をリードして行きたいと思っています。

どうかこれからも皆様方の変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。巻頭のご挨拶といたします。